

平成29年8月号

【発行元】

株式会社 野田建設

〒501-3246

岐阜県関市緑ヶ丘2-5-78

TEL : 0575-23-5555 (代)

FAX : 0575-24-5733

月刊 あったかいご通信

月刊「あったかいご通信」を発行する土地活用研究会は、地域密着の建設会社が福祉施設の開業をサポートする全国50社の国内最大級のネットワークです。毎月、業界の最新情報や成功事例をお届けします。業界全般の最新情報や経営のコツ、利用者募集や人材マネジメントなどリクエストも大歓迎です！

※記事引用・厚生労働省・国土交通省・㈱官公通信社・高齢者住宅新聞社・福祉新聞・日本経済新聞 他

介護医療院、新設は総量規制の対象に 療養病床からの転換を優先

療養病床などからの転換でない新設の場合は、都道府県の判断でいわゆる「総量規制」の対象にできる――。介護保険施設の新たな類型として来年4月に創設する「介護医療院」について、厚生労働省は10日にそうした方針を自治体へ伝えた。既存のベッドの転換を円滑に進めていくことが狙い。

介護医療院は、日常的に医学管理が必要な状態の重い高齢者の入所を想定した施設。ターミナルケアや看取りにも対応できる機能と、「生活の場」としての環境を併せ持つことが特徴とされている。ゆくゆくは廃止される介護療養病床の転換先として構想され、今年5月の改正介護保険関連法の成立で具現化が決まった。人員配置や設備の基準、報酬などをどうするかは、介護報酬改定に向けたプロセスで検討されることになっている。

厚労省は今回、介護療養病床、医療療養病床、療養病床から転換した「転換老健」が介護医療院となる場合について、総量規制の対象から外すと説明。それ以外の新設（一般病床などからの転換を含む）は対象とし、都道府県がコントロールできるようにする考えを示した。当面の間は療養病床などからの転換が優先――。そう説明している。

加えて、実際にどれくらいが転換するか病院の意向を調査するよう要請。地域のニーズなど

様々な要素も勘案したうえで、サービスの見込み量や定員を設定していくよう促している。

平均寿命、さらに伸びる 男性80.98歳 女性87.14歳 ともに過去最高を更新



厚生労働省は27日、日本人の平均寿命が男性は80.98歳、女性は87.14歳になったと発表した。男性は5年連続、女性は4年連続で過去最高を更新。男性は前年から0.23歳、女性は0.15歳伸びた。厚労省の担当者は、「3大死因とされるがん・心疾患・脳血管疾患の死亡率の低下が影響した。医療技術の進歩などでさらに伸びる可能性がある」と説明している。

平均寿命は0歳の子どもが何歳まで生きられるかを示す。近年では、東日本大震災が発生した2011年などに前年を下回ったものの、男女とも伸びていく傾向が続いている。2016年に生まれた日本人の赤ちゃんが65歳まで生きる割合は、男性が89.1%、女性が94.3%だった。